

海浜の自然環境を守る会ニュース

第63号 2020年6月15日

663-8143 西宮市枝川町19-10 甲子園浜自然環境センター内 甲子園地区埋立事業対策協議会気付

<http://www.npo-koshienhama.com/>

第17回通常総会

新型コロナウイルス感染症拡大により、4月7日兵庫県を含む7都府県に緊急事態宣言が出され、外出自粛が要請されたことから、本年は会員のみなさまに書面表決をお願いして、みなし総会といたしました。

第1号から第5号まで全ての議案が滞りなく承認されました。本年は役員改選の年にあたり、新役員体制は以下のようになりました。

理事長 前田文信

副理事長 菅野雅一、前野裕美子

理事 青石弘、岡田孝二、白川政昭、高松眞一

長村富美子、本井敏雄、山縣國宏

監事 小川哲男、高橋良三

事務局長 岸川由紀子

なお長く理事を務めた泉敏夫理事は退任いたしました。が今後も会のために協力してください。5月末での会員数は98名です。

甲子園浜を訪れた鳥たち



コロナ禍でもウオッチャーが少なくても鳥たちは甲子園浜に来てくれました。5月6日、近年では珍しいソリハシギ。

ほかにチュウシャクシギ、キアシシギ、キョウジョシギ、イソシギ、コチドリ、イソヒヨドリ、ササゴイがみられました。 撮影：杉田義彦氏

5月9日、北へ向かうユリカモメの群れが甲子園浜で休憩していききました。冬には元気で戻って来てくれるでしょう。

撮影：前野裕美子氏



理事長再任を引き受けて

この度の新型コロナウイルス感染症対応による異例の招集無き通常総会と理事会の決定によって、理事長の再任を引き受けることになりました。

やっと外出自粛解除を受けて、家族連れの磯遊びの人たちが増えて来て、甲子園の浜も活気をとり戻しつつあります。

想像もしていなかった事態に遭遇して恒例の「シギ・チドリ観察会」や「甲子園浜遺跡探検」など予定していた活動行事や、中学2年生の希望者を迎えての「トライやるウィーク」を通じての自然環境学習が中止になったり、甲子園の浜の自然環境を守る活動にも影響がありましたが、日常的に浜辺のゴミの清掃に協力していただいている人たちによって美しい環境は維持されていることは誠にありがたいことです。

私たちの活動は着実に広がり、地道な努力は報われてきています。

この取り組みを次の世代へ引き継ぐという目的意識と使命感を持って、これからも皆さまとご一緒に前へ進めていきたいと思っております。ご協力をよろしくお願い申し上げます。

理事長 前田文信

甲子園浜の困ったさん

5、6年前頃からか、春先から夏にかけておもにセンター前の磯場で、牡蠣を大量に持ち帰る行為が見られるようになりました。ドライバーで殻をこじ開けて中身を出します。甲子園浜にいるのはマガキです。ぷっくりと白い身を取り出して容器や袋に入れます。根こそぎ、手当たり次第という感じで、捨てられた牡蠣の殻で磯が点々と白くなるほどです。

5月5日は20人、6日は17人、外国語を話している方もおられるようです。牡蠣と並行して、あるいは取り尽くしたか、イボニシも採り始めました。かごに山盛り。一日中かかってリュックや買い物カートをパンパンにして帰ります。

個人で消費するような量ではなく、買い上げる業者がいるのでしょうか。



生態系まで壊しかねないこのような行為を取り締まることはできないのでしょうか。

西宮市では、「牡蠣は水質浄化の役割を果たしているから持ち帰らないように」とか、貝毒の出た時にはその旨を、直接伝えたり注意書きを張り出したりして対応しています。要望でありお願いであって、それ以上の対応をすることは難しいということです。警察も同様で、外国人登録に問題がないかを質したりするにとどまります。

海は誰のものでもあるのですが、過剰に自分本意な行為は自然を破壊し、未来へ持続していくことができません。子どもたちにも見せたくないこのような行為をどうすればやめていただけるのでしょうか。 岸川

甲子園浜自然環境センターミニミニ水族館改装中

1階のミニミニ水族館が、海の生き物中心に生まれ変わります。すでにメダカやドジョウなど淡水の生き物は別の施設に移され、人気者のアリゲーターガムももう少し広いところで暮らせるようです。オープン日は未定ですが、楽しみです。

いいもの見つけ

ヤジロベエクラゲ

甲子園浜では、アカクラゲやミズクラゲがよく知られています。これらは、20 cm～25 cmと大きく、波打ち際に死んで打ち上げられているのを見られたこともあると思います。

その他、カラカサクラゲ、タマゴフタツクラゲモドキ、ヒクラゲ、チョウクラゲ、アミガサクラゲ、カブトクラゲ、シミコクラゲ、オワンクラゲ、カミクラゲ、ウリクラゲなどもやって来ます。

2019年11月27日、ヤジロベエクラゲを初めて甲子園浜で見つけました。普段は外洋で生活しているので大阪湾奥のこのような沿岸で採れることはなかなかないといわれています。水族館でも飼育されている所は少ないようです。



ヤジロベエクラゲの傘の大きさは1 cmくらいで2本の長い触手(3 cmくらい)でバランスを取っています。この様子から名前がついたそうです。観察していると、お腹をペコペコさせて思いのほか素早く移動します。小さいクラゲですが網ですくえば直ぐわかんと思います。皆さんも探してみてください。 向山 裕子

活動報告

3月29日 海浜清掃 55名、可燃ゴミ150kg、

不燃ゴミ10kg (ヤマサ環境エンジニアリング調べ)

5月6日 シギ・チドリ観察会 中止

活動予定

7月5日(日)「甲子園浜の歴史を学んで海の遺跡を探検しよう」

7月19日(日) ブルーサンタになって海浜清掃